

第 7 号  
 2026 (R8) 2.1  
 編集発行  
 更生保護法人  
 がじゅまる沖繩  
 〒903-0803  
 那覇市首里平良町 1-29-4  
 TEL (098) 884-4091  
 FAX (098) 884-4073

# がじゅまる便り

## ご挨拶



那覇保護観察所  
 首席保護観察官

末松 愛子

新年あけましておめでとございます。平素より、犯罪や非行を犯した者の再犯防止について多大なるお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。私は、令和七年四月から「更生保護施設がじゅまる沖繩」を所管させていたいただいておりますが、理事長をはじめとする役職員のみならず、更生保護関係者さま、更生保護関係者地域の関係機関等のみならず、ご尽力とご協力に感銘を受けております。

ちが、再び社会に溶け込み、再犯なく、「更に生きる」のは困難な道程です。がじゅまる沖繩には、その道程を支える重要な社会的役割を担っていたいています。保護観察所としても、がじゅまる沖繩に係るみなさまとの連携を強化し、再犯防止のための息の長い支援の実践に取り組んでまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 新しい年を迎えて

主任補導員 山城 周作



毎年のように慌ただしい年の瀬から新年を迎えることができました。本年もよろしくお願ひいたします。今年には海外から新年早々大きなニュースが飛び込んできました。これから世界はどう変わって行くのか？誰もが平穏で心豊かな年であればと願わずにはいられません。さて、更生保護施設を取り巻く環境も大きく変わりつつあります。寮生の高齢化と福祉ニーズの高さ、そこから再犯を繰返す人々をどう支援して行くか。当施設においても何回となく再犯を繰返し入所して来る方の支援には難渋しております。そういう場合には退寮後もフォローアップでその方のアパートを訪問したり、その際は食材を持参したりと支援しています。今まで何回となく飲酒して窃盗し再犯を繰返していた方が、当施設との関わりの継続で現状は健康的な社会生活を今も続けてお

ります。時々当施設へ顔を見せ、笑顔で談笑して帰る姿は、職員一同微笑ましく思っております。ただ、施設から遠くへ離れた退所者については状況が把握できない方も多く、時として再犯して捕まったと聞くとやりきれない思いがします。

そのほか、アルコール依存症や薬物依存症、クレプトマニア等への取組みについて、現在は全職員が交代で勉強会等開催しています。根が深い問題であり、当施設へ居る間の取組みだけでは難しい面もあります。また、本人自身が問題と認識することが出来れば良いのですが「否認」して自分は大丈夫だと思ひ、問題の深刻さに気が付かずに結局再犯を繰返す状況も多いように感じます。

さらには、当施設では自立更生を支援する際に本人の所持金の把握に努めています。職員への開示を躊躇う寮生も多く、支援が難しい場面も多々あります。その場合は保護観察所の協力を得て指導に当たっております。

これからも入所者の再犯防止と自立更生へ向け、また、地域社会の安全安心のため、更には寮生の幸せのために職員一同一丸となつて取り組んで行く所存です。今後共ご支援ご鞭撻を宜しくお願い致します。



更生保護法人がじゅまる沖縄 令和6年度事業実績

理事会・評議員会	2回	令和6年5月11日、令和7年2月27日
関係機関との協議会等	27回	更生保護センター運営連絡会議(12回)、特別調整連絡会議(3回) 刑務所出所者就労支援事業協議会、その他
更生保護女性会訪問	15回	読谷村、豊見城市、宮古、南風原町、八重山、首里、西原町、那覇市 嘉手納町、与那原町、南城市、八重瀬町、宜野湾市、北谷町、浦添市
関係機関視察訪問等	12回	那覇市福祉政策課、九州地方更生保護委員会、松江刑務所、沖縄刑務所 更生保護施設清和会、検察庁、八重山保護区保護司会、その他
那覇保護観察所 立入検査	1回	令和7年1月22日(統括保護観察官他3名)
職員間日々事務 引継ぎミーティング	毎日2回	毎日2回(朝 8時45分~9時、夕 17時45分~18時)
社会生活スキル トレーニング(SST)	6回	令和6年4月、6月、8月、10月、12月、令和7年2月
料理教室	4回	令和6年6月、8月、12月、令和7年2月(首里更生保護女性会の協力)
集団処遇	10回	令和6年11月(2回)、12月(2回)、令和7年1月(2回)、2月(2回)、3月(2回)
面接・ケース会議	20回	保護観察所定期駐在面接(12回)、その他
コミュニティホール等 貸出	5回	那覇市保護司会首里支部、沖縄県更生保護女性連盟、城北FC保護者会、その他
入所保護者	延4,954人	定員7,300人(保護率67.86%)



Y・T

Y・I

長期に渡る刑事施設への収容。この長期間に置いて矯正施設で学んだ事。自由に送れる毎日の生活。真面目に社会復帰、社会生活が送れる事の素晴らしさ。人間的な生活が送れる事の幸せ。以上の事を胸に刻み収容生活を送って来ました。

更生保護施設を出てこれからは介護の現場で就労を念頭に置き安定した収入を得ることが出来るよう努力するつもりです。苦難で壁にぶち当たっても、人助けができる介護の仕事に誇りに思えるよう又素晴らしい職業であると言う事も描きながら頑張るつもりです。母親が元気で笑って生活する事を支え親孝行をし、真人間に改心して生きて行きます。以上を持って自分との約束になります。

このたび無事に満期を迎え、社会人として再スタートを切る事ができました。ここからが私にとつての自立更生の始まりです。過去の自分と決別し、再犯を二度と繰り返さないための自分との約束です。

まず、人に感謝をわすれない。誠実に生きる。問題があるときは一人で抱えこまず周りの人に相談する。仕事を通じて社会貢献し経済的な自立を目指す。得た収入は計画的に使い堅実な生活を送る。過去の失敗を教訓とし、同じ道を歩まないよう常に自分を見つめ直す時間を持つ。以上自分との約束です。これができるれば未来を幸せに生きられる。焦らず一歩一歩確実に新しい人生を生きて行きます。



更生保護センターから

沖縄更生保護センター長  
沖縄県更生保護協会事務局長

武 富 秀 世



新年を迎え、更生保護事業に関わる関係各位の皆様へ謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

旧年中はセンターの運営に対し多大なるご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

がじゅまる沖縄は新たな出発を志す方が社会の一員として自立するための大切な拠点だと思えます。その中に沖縄更生保護センターも入居していて、沖縄県就労支援事業者機構、沖縄県更生保護女性連盟、沖縄県更生保護協会の3つの団体が活動しています。

本年が皆様にとって希望に満ちた素晴らしい年になりますよう祈念いたし新年の挨拶とさせていただきます。



更新会施設見学と  
新任更生保護施設補導  
職員研修について

補導員 名 嘉 克 文

令和7年7月15日(火)～17日(木)東京都内更新会施設見学と新任更生保護施設補導職員研修に参加をさせて頂きました。

初日15日(火)に東京都新宿区西早稲田にある更生保護施設更新会を見学させて頂きました。

当日は台風の影響下で大雨が降る中、高田馬場駅から早稲田大学構内にある当施設まで徒歩で移動。当会の山田常務理事が丁寧に施設概要等説明して頂きました。

16日(水)～17日(木)は、霞が関にある法務省大会議室にて新任更生保護施設補導職員研修に参加させて頂きました。当日は全国の更生保護施設の新任補導員が集い、講義やグループワークでのディスカッション等を行いました。全国どここの施設も同様な事で悩んでいる様子。研修中、他施設との情報交換等行い有意義な研修となりました。

今回この施設見学と研修に参加させて頂きありがとうございます。これからの職務に活かして行きたいと思っています。

DV相談室から

がじゅまる沖縄では、平成十九年度より沖縄県DV防止対策事業を一九期連続で受託しており、講座や心理教育グループワーク、DV加害者更生相談等の活動を行っていますので、利用者の声を紹介させて頂いたいただきます。

80代男性

私は夫婦関係がギクシャクして「どうしたものか」と相談先を探し、DV相談室に辿り着きました。

当初は、貴方のDVが原因ですよと指摘されても「私がDVをしている？」と信じられませんでした。が、カウンセリングやグループワーク、講座に通ううちに、私は妻を支配していたのだと気づくことができました。

あれから約七年、今もDV的思考は消えては浮かぶ揺れる心を抱えています。が、グループ活動で加害者と被害者が交流する機会がDVからの立ち直りの力になっています。



地域交流と  
地域貢献について

当施設一階のコミュニティホールは、地域へ向け開放しております。時としては、地域の保護司が面接場所として使用したり、少年野球の子供たちにテレビ観戦の場所として提供しております。



新人職員紹介



補導員  
大 城 敏 一 (53才)  
令和7年12月1日付採用  
趣味・特技：水泳  
コメント：頑張ります。

